

新政クラブ



高橋 輝幸

災害時の電子情報の管理は

問 25年度は、災害時の損失回避の観点から、情報の分散化を図っているが、データ管理の基本的な考えは。

答 本市では、各種データは適宜バックアップを行い、耐火構造のデータ保管室などに保管し、不測の事態に備えている。
25年度から、住民基本台帳など重要なデータは、通信回線を利用して庁外の施設に分散保管する仕組みを構築する。また、戸籍データは、国が構築を予定している、遠隔地にデータをバックアップする仕組みを利用する。
今後も、リスク回避する情報の範囲の拡大など、より安全性の高いデータ管理に努める。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、5人の議員が質問し、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

市税収入の増加策は

問 デフレ経済下、本市は市税収入が減少する中、「再（Re）」の取り組みを推進し、効果的な予算配分に徹してきた。現在、経済環境は改善の兆しが見え、本市の景況感も全業種で改善しているが、市税収入の増に向けた産業の育成、活性化がさらに求められる。本市の考えは。

答 中小企業を取り巻く経済状況

況は非常に厳しく、新技術や新商品の開発などへのチャレンジが求められる。
産学官連携による新技術や新商品の開発、販路開拓への支援、コーディネーター派遣等により、ものづくり技術が継承され、付加価値を生み出し、雇用や投資につながるよう取り組む。

下水道事業への一般会計からの基準外繰入金は



大田 祐介
水曜会

問 23年度決算では、汚水処理経費の何割を下水道使用料で賄っているかを示す原価回収率は約7割で、残りは一般会計からの基準外の繰入金で賄っている。

経営計画では、基準外繰入金

答 増大の要因は、企業債元利償還金の一部を基準外繰入金で賄っており、償還のピークの29年度までは増加し、その後は減少する。基準外繰入金は、一般会計に与える影響が大きいことから、今後は一層の自助努力により独立採算の基本原則に立脚した経営を行いその削減に努める。

※スマートインターチェンジ（P.8）：高速道路の本線やサービスエリアなどから乗り降りができるように設置されるインターチェンジで、通行可能な車両を、ETCを搭載した車両に限定している。